

6/5 保健衛生推進協議会の衣笠会長が知事賞

長年地域の保健衛生の推進などに貢献されている保健衛生推進協議会の衣笠勝弘会長が、兵庫県公館で行われた「地球と共生・環境の集い2017」で、環境保全功労者兵庫県知事表彰を受けました。



▲表彰を受けた同協議会の衣笠会長

衣笠会長は「永年に渡る協議会会長としての活動が認められたもの。

協議会は今年度でその役割を終えますが、今後も市民と行政が協働で保健衛生を推進できるよう努めたい」と話されました。

6/16 子どもたちへ平和の大切さを



▲飛行場は昭和18年開設、滑走路の長さ約1200mと話す上谷さん

次代を担う子どもたちに戦争のことを正しく伝えていこうと、上谷昭夫さん（鶉野平和祈念の碑苑保存会）が善防中学校で、1年生55人に加西市の鶉野飛行場について講演しました。

上谷さんは、同飛行場で訓練を受けた多くの若者が戦地へ飛び立ち、多くの人々が犠牲になっていることなどを話し、平和の大切さを伝えました。

6/20 フォトコンテストの入賞者



▲山野さんの作品「望郷（北へ）」（水正池）

平成29年2月から5月までの加西の伝えたい景色を撮った写真展を行いました。投票の結果、応募総数42点の中から入賞者が決定しました（敬称略）。

最優秀賞／山野富之（谷口町）

優秀賞／岡田良則（網引町）、齋寺義則（明石市）

佳作／菅原正智（北条町北条）、上原宏明（東長町）

※現在、6月から9月に撮影した写真を募集中。

6/22 堀川虎太郎さんにさわやか市民賞



▲52m25cmを投げて優勝した堀川さん

加西市は、スポーツで優秀な成績を収めた堀川虎太郎さん（加西特別支援学校高等部3年、北条町北条）に「さわやか市民賞」を贈呈しました。

堀川さんは、5月に三木総合防災公園で行われた「県障害者のじぎくスポーツ大会・陸上競技少年知的障害の部ソフトボール投げ」で優勝。「野球が好きで、スポーツは楽しい。優勝できてうれしかった」と話しました。

7/2 障害・国籍をこえて「わ」を広げよう



▲参加者は、障害・国籍・年齢・性別をこえて交流を深めました

加西市障がい者（児）社会参加促進事業として、地域活動支援センター・カラース（北条町古坂）で、七夕イベント「たなばたのWA!!」（主催：NPO法人 sky ツールーカラース加西）が行われました。

地域の障がい者や外国人など約60人の参加があり、加西特別支援学校に通う子を持つ親は、「子どもと初めてイベントに参加できた」と話されました。

7/8 夏祭りでみんな仲よし



▲スーパーボールすくいに挑戦する園児

宇仁幼稚園で「なかよしっこの夕べ」が行われ、園児や保護者ら約100人が、夜店やキャンプファイヤーを楽しみました。

子どもたちは浴衣を着て、親子で夜店を回ったり、大きな火を囲んでゲームやダンスをしたりしました。最後には花火大会もあり、普段とは違う夜の園庭で、大歓声を上げていました。

7/11 ブラックビートの産地化を目指して



▲谷川果樹園を視察する流通関係者

加西市ぶどう部会が推進する大粒品種「ブラックビート」を扱う流通関係者5人が、市内のぶどう生産者を訪問し生育状況の現地確認を行いました。

ブラックビートは、他の大粒ぶどうよりも早く収穫できるため年々人気が高まり、昨年から大手量販と提携して産地化を目指した取り組みを進めています。今年も8月中旬から下旬にかけて店頭に並ぶ予定です。

7/15 大人気の「かぶと虫列車」



▲かぶと虫を手にする参加者

北条鉄道は、車内を小枝や葉で飾った「かぶと虫列車」を3日間運行し、約730人の参加がありました。

列車は北条町駅と粟生駅間を約1時間かけて往復。かぶと虫のつがいをプレゼントしてもらった子どもたちは、「大切に育てたい」と意気込んでいました。

今回は、北条高校や播磨農業高校の生徒および市民ボランティアなどにご協力いただきました。